

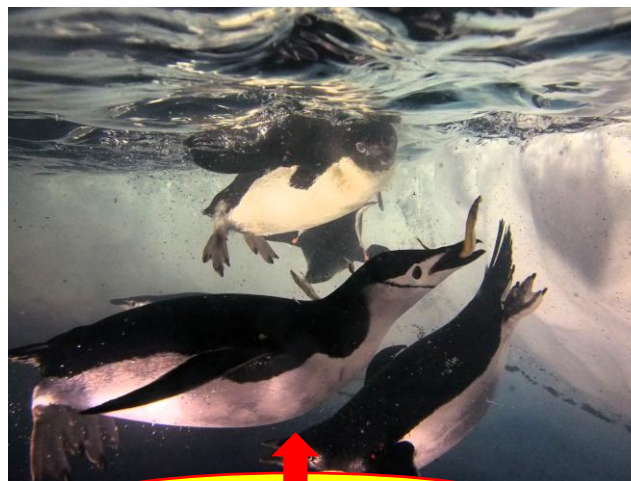


飼育係が水中へ餌の魚を撒いている様子。
ペンギンたちはしっかりと魚の行方を目追って泳ぐ姿も見られる。



飼育係がペンギンをプールにいざなうこともあります

泳いで運動不足を解消 餌の与え方に工夫 水中給餌始めました



水中で魚を食べる様子
しっかりと泳いで運動量の増加を目指す。
素早く泳いで魚を食べるさまはより野生
本来の動きに近い迫力が感じられる。

二刀流でやります！



陸上で手渡しで餌を与えている様子
ペンギンたちを間近でしっかりと観察
することができ、個体ごとに摂餌の有
無などもチェックすることができ。

餌の与え方を工夫して健康管理に役立てる
普段は飼育係に近寄ってきたペンギンに対して餌を与え、さらに摂餌した個体を記録する陸上給餌を行っている。この方法は1羽1羽の摂餌の有無や食欲、様子などを間近で確認できるメリットがある。その一方で陸で餌がもらえるがゆえに遊泳時間が減少したり、陸上で動かない時間が増加し、結果として運動量を減らす要因となる恐れもある。運動不足が健康面に悪影響を及ぼす可能性もあることから、陸上給餌に加えてプールに餌を撒く水中給餌も取り入れてペンギンの生活の質の向上を図っている。

担当飼育係の声
野生のペンギンは餌となる魚やオキアミなどを海で泳いで採ります。そして陸から海までの道のりをしっかりと歩きます。なので野生のペンギンに比べて飼育下のペンギンは運動量が少なく、なつてしまっています。そこで陸上給餌に加えて水中給餌も取り入れることでプールで泳ぐ時間を増やし、足への負担軽減や運動量の増加に繋げてペンギンたちの健康管理に役立てたいと思っています。ただし、餌をプールに撒いたら全羽が泳いでくれるわけではありません。我関せず陸上でじっとしている個体もいます。その場合は飼育係がプールのいざなうで頑張っている個体を水中で餌を食べるペンギン本来の姿が垣間見える時間でもあります。もし、水槽前を通った際に実施していたら是非、観察してみてください。



ペンギンが水中で餌を食べる様子を飼育係が撮影してみた！

★おまけ情報★
水中給餌を行う時間は決まっていますが、基本的に午前と午後に1回ずつ実施していることが多い。もし見かけたらラッキー！かも？水中給餌では魚の他にナシヨクオキアミを撒くこともある。